

G-free

創刊号

平成19年3月31日



What's G-free?

G-freeとは?

G=岐阜、f=friendly (フレンドリーな)、r=refresh (元気づける、生き生きさせる)、e=enjoy (楽しむ)、e=explorer (探検者)。G-freeは、言わば「文化の探検家」です。文化事業という道なき道を、仲間とともに楽しみながら、軽い足取りで進んでいく。G-freeでは、それぞれが自分の得意な分野で持ち味を発揮し、それを結集することで、新たな文化事業の企画・制作や、文化事業のサポートをします。



平成18年度のG-free活動内容

企画
事業

01 第28回 ぎふアジア映画祭

ぎふアジア映画祭のスタッフはこんな活動をしています。

■上映作品の選定

これが一番大変!スタッフで何度も話し合い、試写会を重ねて決定します。

■チラシ・ポスターのデザイン

いくつかの案(デザイン)の中から選んでいく。平成18年度の表紙デザインもスタッフの原案です。

■映画のPR…ポスター掲示・チラシ配付・ラジオ出演など

より多くの皆様に知っていただくために、柳ヶ瀬近郊を回り、ポスター掲示やチラシ設置のお願いをしています。平成18年度はラジオ出演し、アジア映画祭をPRしました。

■映像作り…上映映画の予告編・携帯電話電源OFFのお願い・市民スタッフ(G-free)募集 映像班により撮影しています。舞台は…柳ヶ瀬!!

■上映作品のパンフレット・かわら版作り

パンフレットには、個々の映画の内容や出演者の紹介、時には個人的な想い…も掲載しています。

かわら版には次回作品の紹介なども掲載します。

■上映当日のチケットもぎり・アナウンスなど

ロビーまわりを中心とした表方と呼ばれるお仕事です。また、平成18年度はモンゴル映画・ネパール映画上映に合わせて、民芸品の販売なども行いました。

スタッフ一人一人が自分の得意な分野で関わりながら、みんなで力を合わせ映画祭を作りあげていけるのが魅力です。

G-free 大江 繁美



第28回ぎふアジア映画祭
平成18年8月26日～11月3日(全12作品上映)
日本・中国・韓国・モンゴル・ネパール映画など上映



高島屋前の特設ステージ
で手作りの予告編を大スクリーンに上映。今年の映画祭の見どころを熱く語る。その様子は掛け合い漫才のよう。



スタッフがゆかたでお出迎え。映画祭の開幕に花を添えた。



ゲルの組立・解体体験。実用かつ芸術的な骨組みに感動。



「キャラバン」(ネパール映画)上映後に行われた、野津治仁先生の講演会。参加者のネパール文化への関心の高さに驚き。ネパールのお茶も堪能しました。



モンゴルからの留学生もまじえ、みんなで記念撮影。モンゴル相撲の力士も!?

予告

平成19年度
第29回ぎふアジア映画祭は?

秋の開催に向けてたどいま映画を選定中です。
期間は平成19年10月・11月を中心に予定しています。
お楽しみに!!





企画事業

02

市民スタッフ企画vol.2 舞台はどこにある!?

映画「拳銃無頼帖 明日なき男」と演劇的トーク「柳ヶ瀬がたり」

こだわりは 岐阜=柳ヶ瀬=映画。

■企画会議は紆余曲折

何をやろう(演ずる)頭の中は真っ白だ。だれかが言った。「舞台と観客席を逆にして、何かを演じたら…」(反応なし)。また、だれかが言った。「童謡を流して振付け、演じる。舞台上で演じる役者は老若男女…」企画は思いつきを現実にする作業。簡単には決まりません!

■テーマは

侃々諤々夜も深まる。我が住む街の代表といえば“柳ヶ瀬”。“柳ヶ瀬”から何が見える。何も見えない。では見に行こう!!

■柳ヶ瀬とは

カメラを引っさげ、昼夜街中を放浪するG-free。何が見えたかな。ある廃業した映画館内で過日の繁盛振りが頭の中を駆け巡る…ここでチンドン屋大会…?活弁大会…?いや、トークショーでいこう。

■柳ヶ瀬を掘り起こせ

草創期の柳ヶ瀬の資料を探せ。新聞社、放送局、図書館、映画館などなど。走れ、走れ。ある、ある。写真、紙面(記事)、人までも…。そして見つかった岐阜ロケ映画“明日なき男”。

■さあ決めた“演劇的トーク”「柳ヶ瀬がたり」と映画“明日なき男”

試写を見る。当時のロケ地はドコ?映像班は東奔西走…。映像のあとはトーク。主演は“柳ヶ瀬”を愛した大先輩。出演依頼に走る。

■昭和の演出は…

手描きの映画大看板、駄菓子屋の出店、ちょっとコクのあるコーヒーを出す喫茶店、場外では懐かしいボンハゼなどなどでロビーを演出…。駄菓子屋のセットは裏方さんの力作ですよ。

■リハーサル

春気ある日、舞台監督を中心に映像上映と“トーク”のリハーサルを繰り返すと、突然客席からチンドン屋が登場する…。コーヒーの試飲も…。この味で80円は安い!!

■2007年3/17~3/18

当日はいずれも予想以上の盛況で、昭和の余韻に浸る人々が会場を埋めました。駄菓子の数々、懐かしいコーヒーの味、おいしいボンハゼ菓子、それぞれの昭和を、映画では岐阜の今昔を味わっていただけたと思います。

G-free 田中 敏治



市民スタッフ「G-free」独自企画の第2弾。ひたすら岐阜にこだわり、他にはないものを創ろうとゼロから企画。今回は懐かしの映画と演劇的トーク。



ああ昭和のにおい!!看板娘がお出迎え。



柳ヶ瀬では現地取材の他、演劇的トーク用の映像撮影も。



チラシ(映画面)

研修事業

03

戯曲づくり&リーディング発表会

この事業はG-freeの研修事業第、一般参加の講座として開催されました。

戯曲!?!そんなの書いたことありませんっ!

そんな私ですから、気合を入れて講座に出席したのですが、参加者が女子高生からロマングレイのおじさままで年齢層の広さにちょっと驚き。20代くらいの妙齢の女性も多数参加していました。

周りの受講生は物怖じせず作品のリーディングに臨むし……そうか、若い参加者は劇団経験者や演劇をやりたい人が来てるんだ! 私って、場違い?

それでも、なんとか締め切りぎりぎりに仕上げた作品を提出したところ、はせ先生の慈悲(?)により「ドラマリーディング」として発表していただけることになりました。しかも、文化センター催し広場で!!

公演後は「戯曲は演じられて完成品となるんだ!」と感激もひとしおでした。

私の処女作にご出演いただきました中村さん、林さん、伊藤さん、ありがとうございました。私の世界が少し広がった体験でした。

G-free 坂口 佳子



地域文化担い手養成講座
アイデアを形にする、戯曲づくりの秘訣
講師/はせひろいち氏
(劇作家、演出家、劇団ジャブジャブサーキット代表)
平成18年9月9日~12月23日(全8回)



講師のはせさんが、受講者に合わせて言葉を選びながら、やさしくも厳しく指導していただきました。



講座第8回目の最終回は、受講者有志の出演による「ドラマリーディング」。

WE WANT STAFF.



集え!!市民スタッフ!

文化事業等の活動を通して、文化・芸術に触れる喜びや楽しみを知ってもらうこと、文化・芸術活動をコーディネートする人材を生み出すことなどを目的として「市民スタッフ=G-free」を募集しています。詳しくは岐阜市文化センターまでご連絡下さい!!

■活動内容

- 文化事業の新規企画検討
- ぎふアジア映画祭の運営（作品選定・企画・広報等）
- 市民会館・文化センター主催事業の補助（当日の受付・案内（表方スタッフ）等）
- カメラ・ビデオなどの記録撮影
- ホームページ・会報作成
- その他

【表方スタッフとは?】

- ・場外整理
- ・ロビー準備（チラシ・プログラム折込作業ほか）
- ・入場整理（入場者の整理、誘導、当日券販売の案内ほか）
- ・当日券販売
- ・受付もぎり（入場券もぎり、チラシ・プログラムの配布ほか）
- ・客席案内（客席への案内・誘導、扉の開閉ほか）
- ・会場片付け

などです。



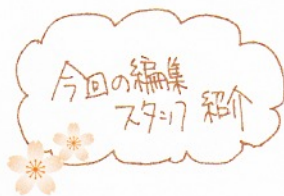
劇場の顔!明るくお客様に対応するG-free表方スタッフ



平成18年8月に行われた伝統文化体験教室を記録撮影中のG-free映像スタッフ

編集後記

春です…なんとか第1号発行です。
G-freeが動き始めました。ゆっくりでも永く続けることがボランティア活動の力だと思います。
映画を観る、演劇を観る、音楽を聴く…etc.そんな、劇場へ足を運ぶ楽しさを、市民会館や文化センターの職員の方とも協力してもっと広めていきたいのです。
これを読んだ方がどんどん加わって、活動が大きく広がっていただければ幸いです。
G-free 坂口佳子



岐阜市民会館

〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目6番地
TEL 058-262-8111 FAX 058-262-8114
<http://www.k5.dion.ne.jp/~civic/>



岐阜市文化センター

〒500-8842 岐阜市金町5丁目7番地2
TEL 058-262-6200 FAX 058-262-6229
<http://www.k4.dion.ne.jp/~culture/>

